

# 2022年度事業計画

## I. 総括

厚生労働省の医師の働き方改革に関する検討会報告書において、2024年4月から勤務医の時間外労働上限を原則年960時間以下とすることが示されている。これを踏まえてタスク・シフト/シェアを推進するために、診療放射線技師法の改正が含まれた「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が昨年5月28日に公布となり、10月1日施行となった。これによる業務拡大において、現行制度上で実施できない行為については、法令が改正されれば養成課程において必要な教育内容を追加するとともに、既に国家資格を取得済みの方々においては、厚生労働大臣が指定する告示研修を受講することが義務付けられた。これについては、従来の統一講習会とともに、日本診療放射線技師会と協力しながら事業を推進する。

われわれは国民の信頼にこたえ、医療と公衆衛生の向上、更には医療安全の確保に寄与すべく今年度も「チーム医療を推進し、国民及び世界に貢献する診療放射線技師の育成」をスローガンとして各種事業を展開していく。そして、高性能化・多様化する医療機器、高度化する医療技術を学ぶ機会を供するとともに、エビデンスに基づいた医療技術を発展・普及させていかなければならない。診療放射線学の発展に寄与すると共に生涯教育・専門教育・各種認定・業務範囲の拡大に伴う研修など、公益社団法人日本診療放射線技師会をはじめとした関連団体と適切に連携・協力しながら推進していく所存である。また、被ばく相談、各種検査受診の啓発や不安解消、骨密度測定、マンモ触診体験、ピンクリボン運動への参加など、都民の中に入っていく公益事業も引き続き推進する。災害対応への意識を風化させないために、防災・減災・緊急被ばく医療・BCP（事業継続計画）などもSR推進委員会を中心に活動していく。

われわれが推進する事業は、公益社団法人として、次の要件が問われる。

- ①「公益社団法人及び公益財団法人認定等に関する法律」別表に掲げられた学術、技芸、慈善その他の公益に関する23の事業に該当するか。
- ②受益機会が一般公開されているか。
- ③特定の者に対する利益供与になっていないか。
- ④公正な運営がなされているか。
- ⑤社会的存在として広く認識されるような事業規模に達しているか。

前年度、前々年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、多くの事業、会議などがweb開催や一部対面及び一部webのハイブリッド対応を余儀なくされた。結果として本来使われるべき予算が未達となり、監督官庁（東京都生活文化局）より「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に定める法律認定基準に係る照会」があり、認定法第5条に定める公益認定の基準のうち、第9号の基準「遊休財産額の保有の制限」を満たさなかった法人及び同条第6号の基準「収支相償」を2か年以上連続して満たさなかった法人とみなされ、余剰金の解消計画を提出することとなった。このことについて、webによる各種会議、セミナーなどの利便性と安定性を担保するための設備投資も含め、公益目的事業の規模拡大、新たな公益目的事業、公益目的保有財産の取得、資産取得資金の積立など積極的かつ有効活用を推進したい。地区・支部の活性化にも大いに貢献できるよう取り組む所存である。

役員、会員各位には、一層のご支援と積極的な会務への参画をお願いする次第である。

## Ⅱ. 定款に基づく本会の事業

### (目的)

この法人は、診療放射線学の向上発展と放射線障害の防止に関する事業を推進するとともに、東京都における診療放射線技師の職業倫理を高揚することにより、放射線検査・治療技術の質の確保と都民の健康および医療、ならびに保健の質の維持発展に寄与することを目的とする。

### (事業)

この法人は、前項の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業
- (2) 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業
- (3) 放射線関連機器の安全管理を推進する事業
- (4) 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進
- (5) 前各号の主旨を目的とした学術誌の刊行
- (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

### 1. 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業、及び放射線関連機器の安全管理を推進する事業

東京都民、本会会員、診療放射線技師および医療従事者を対象に下記の事業で知識の啓発普及を行います。また診療放射線技師においては、職業倫理を高揚し保健の質の維持発展および公衆衛生の向上に寄与します。この事業を通して、放射線災害や放射線事故に備えて、会員および広く診療放射線技師に対して緊急事態時における放射線測定や放射能除去の訓練を常日ごろより行うとともに、東京都民に対する啓発や知識の普及を行います。これらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表します。

#### 1) ペイシェントケア学術大会

開催時期：5月

開催場所：日暮里サニーホールまたは東京都内のイベントホールなど

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

後援：東京都および開催場所の市または区

実施内容：ペイシェントケアをテーマに患者医療に関する公開講演会およびシンポジウムを実施します。

#### 2) サマーセミナー

開催時期：8月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：最新の診療放射線機器の情報提供を機器メーカー側とユーザーである会員側から、それぞれの立場で講演を行います。また放射線災害や放射線事故に備えて、緊急事態時における放射線測定や放射能除去の方法を実習など取り入れながら行います。

#### 3) ウィンターセミナー

開催時期：1月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：最新の診療放射線機器の情報提供を機器メーカー側とユーザーである会員側から、それぞれの立場で講演を行います。また放射線災害や放射線事故に備えて、緊急事態時における放射線測定や放射能除去の方法を実習など取り入れながら行います。

#### 4) メディカルマネジメント研修会

開催時期：1月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：診療放射線技師をはじめ医療職の管理職を対象に危機管理や経営学をはじめ、各業界から専門家を招いて研修を行います。

#### 5) 合同学術講演会

開催時期：10月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会・公益社団法人日本放射線技術学会東京支部

実施内容：東京都内の診療放射線技師が所属する2団体での合同企画であり、講師に診療放射線技師はもとより、医師、看護師をはじめとしたメディカルスタッフ分野の専門家、および有識者を招きます。

#### 6) 日暮里塾ワンコインセミナー

開催回数：年間15回程度（不定期開催）

開催場所：東京都診療放射線技師会研修センターまたは大学病院などの研修施設やweb

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：診療放射線技師をはじめ、医療職や一般も対象に、放射線技術や患者接遇などに関する研修を行っています。入場制限はありませんが、会場整理費を徴収しています。

参加人数：約50人

#### 7) 支部研修会

開催回数：年間5回程度（不定期開催）

開催場所：東京都診療放射線技師会研修センターまたは大学病院などの研修施設やweb

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 各支部

実施内容：診療放射線技師をはじめ、医療職や一般も対象に、放射線技術や患者接遇などに関する研修を行っています。入場制限はありませんが、会場整理費を徴収しています。

参加人数：約50人

#### 8) 地区研修会

開催回数：年間16回程度（不定期開催）

開催場所：東京都診療放射線技師会研修センターまたは大学病院などの研修施設やweb

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 各地区

実施内容：診療放射線技師をはじめ、医療職や一般も対象に、放射線技術や患者接遇などに関する研修を行っています。入場制限はありませんが、会場整理費を徴収しています。

参加人数：約50人

9) 診療放射線技師の民間の給与、放射線医療に関する実態調査および各種研修会および講演会にてアンケートを実施し、その動向を調査し、今後の活動に生かす情報取得に努めます。これらの情報は、学術誌やホームページを通じて公表します。

## 2. 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業

東京都民を対象に下記の事業にて放射線医療および放射線障害防止の知識の啓発普及を行います。それぞれのイベントでは展示ブースなどを設置し、写真やパネルの展示、パンフレットおよび本会学術誌の配布を行います。また一般参加者からの医療被ばく相談や放射線に関する質問に対しては、会員が対応し、無料で適切なアドバイスをいたします。これらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表します。

### 1) ピンクリボンウオーク2022

開催時期：4月

開催場所：お台場

主催：認定NPO法人乳房健康研究会

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、パンフレット配布、学術誌配布

### 2) 看護フェスタ2022

開催時期：5月

開催場所：新宿駅西口広場イベントコーナー

主催：公益社団法人東京都看護協会

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、パンフレット配布、学術誌配布

### 3) 中央区健康福祉まつり2022

開催時期：10月

開催場所：中央区保健所

主催：中央区健康福祉まつり実行委員会、中央区、中央区社会福祉協議会

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、放射線クイズ、パンフレット配布、学術誌配布

### 4) OTAふれあいフェスタ2022

開催時期：11月

開催場所：ポートルース平和島

主催：OTAふれあいフェスタ実行委員会、大田区

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、骨密度測定、パンフレット配布、学術誌配布

### 5) 第37回東村山市民健康のつどい

開催時期：11月

開催場所：東村山市いきいきプラザ

主 催：市民健康のつどい実行委員会、東村山市

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、パンフレット配布、学術誌配布

6) 放射線検査や医療被ばくに関する相談への対応

ホームページを利用して一般の方からの放射線検査や医療被ばくに関する質問に適切にアドバイスを行います。

7) その他

東京都診療放射線技師会の主催で都民講演会やレントゲン週間イベントの単独開催を計画中。

### 3. 放射線関連機器の安全管理を推進する事業

東京都民、本会会員、診療放射線技師および医療従事者を対象に下記の事業で放射線関連機器の安全管理の推進を行います。またこれらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表し、各種セミナーにて、放射線関連機器の安全管理に関する知識の普及を行います。

### 4. 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進

- 1) 東京都福祉保健局医療政策部と連携を図り、医療従事者ネットワークに参加する医療専門職関連団体との連携を強化し、医療におけるさまざまな諸問題について協議を行い、改善を図ります。
- 2) 公益社団法人日本診療放射線技師会の生涯教育セミナー、臨床実習指導教員、放射線機器管理士および放射線管理士講習会などの事業に協力します。関東甲信越診療放射線技師学術大会を共催し、関東甲信越地域の放射線技師会との連携を図ります。
- 3) 放射線関連団体、医療関連機関、医療関連職能団体との交流を促進します。
- 4) 東京都内の診療放射線技師を養成する大学などと連携し、本会刊行物の無料配布を通じて診療放射線技師が果たす医療の役割を理解していただく啓発活動を行います。

### 5. 前各項目の主旨を目的とした学術誌の刊行

- 1) 学術誌「東京放射線」の刊行。  
「東京放射線」を発行し、会員に配布するとともに国立国会図書館、医療関連機関、全国の放射線技師会および診療放射線技師を養成する大学などに寄贈します。またイベントの展示ブースにて、都民をはじめ一般の方に広く配布します。
- 2) 本会の活動に関する図書の刊行。  
診療放射線技師および放射線医療に役立つ学術資料を刊行します。

### 6. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

- 1) 診療放射線技師の生涯教育を行います。  
診療放射線技師のエキスパートにより、少人数制で専門的で高度な技術を習得し、診療放射線技師の生涯教育の目的で行います。またフレッシュャーズセミナー、各種基礎技術講習、業務拡大に伴う統一講習会など、公益社団法人日本診療放射線技師会との共催として開催し、技師としての礎を築くことができるようにいたします。これらを通じて入会促進に努めます。

2) 専門技術および資格の取得に向けた講習会を行います。

他団体と連携を図り、専門技術のさらなる習得と認定技師制度に基づく取得を目的に、きめこまかな生涯教育、MRI集中講習会を開催します。

3) 本会は、定款諸規程および内規に則って運営を行います。この定款諸規程を現状の組織運営に適した修正作業を行います。

4) 組織の活性化、新卒者などの入会促進のための活動を行います。更に雇用の促進と確保に努めます。

5) 会員の中から、叙勲、厚生労働大臣表彰、東京都知事表彰、医療功労者表彰などへの申請を行います。また本会における規定の表彰を行います。

6) 地球環境保全活動の推進のため、地域の清掃活動などに参加します。また禁煙運動を促進し、健康の普及を推進します。

### Ⅲ. 委員会事業計画

2022年度の各委員会の事業計画が次のように企画されています。会員の皆さまのご協力をお願いします。なお、日時および詳細につきましては当該委員長にお問い合わせください。

#### 1. 専門部委員会

##### 総務委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年6回開催する。
- ・総会の準備を行う。
- ・理事会の準備を行う。
- ・中間監査の準備を行う。
- ・期末監査の準備を行う。
- ・新春のつどいの準備を行う。
- ・役員研修会の準備を行う。
- ・役員選挙の準備を行う。

##### 庶務委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年4回開催する。(不定期)
- ・会員データベースの再構築を目的に、会員一人ひとりの調査を行う。
- ・委員長と委員との情報の共有化に努める。
- ・会員動向の調査を行い、会員維持の方策を検討する。

##### 編集委員会

- ・委員会を年12回開催する。(毎月第2～3週にて会誌の再校・企画)
- ・新連載などの企画検討。
- ・過去の写真データの電子化ならびに管理システムの構築。
- ・会誌進呈先の再検討。
- ・研修会や各種イベントなどへの取材及び会誌への掲載方法の検討。(活性化促進)
- ・Web開催による講演会や研修会の印象記掲載の検討。
- ・電子媒体による会誌等校正の検討。

##### 学術委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年12回開催する。(毎月第2水曜日開催予定)
- ・日暮里塾ワンコインセミナーを15回開催する。(毎月1～2回)
- ・きめこまかな生涯教育を2回開催する。(2022年6月、2022年10月)
- ・サマーセミナー、ウインターセミナーを各1回開催する。(2022年8月、2023年1月)
- ・MRI集中講習会を開催する。(2023年2月)
- ・マネージメント講習会を開催する。(2023年1月)
- ・合同学術講演会を開催する。(2022年10月)
- ・学術的な刊行物の発刊および発刊済みの改訂、検討を行う。
- ・教育委員会と合同での企画を開催する。

## 教育委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年12回開催する。(毎月第1水曜日開催予定)
- ・日放技の委託事業(フレッシュャーズセミナー、基礎技術講習)の開催。  
※会場開催かWeb開催のハイブリッドを予定。
- ・教育的な刊行物の発刊や発刊済みの改訂などの企画。
- ・学術委員会と合同での企画開催。
- ・日放技、技術学会等の包括的な事業協力。

## 広報委員会

- ・イベント参加
  - ① 4月：ピンクリボンウオーク2022(お台場)
  - ② 5月：看護フェスタ2022(新宿駅西口広場イベントコーナー)
  - ③ 10月：中央区健康福祉まつり2022(中央区保健所)
  - ④ 11月：OTAふれあいフェスタ2022(ボートレース平和島)
  - ⑤ 11月：第37回東村山市民健康のつどい(東村山市いきいきプラザ)
  - ⑥ 未定
- ・物品貸出  
予定なし。

## 厚生調査委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・診療放射線業務関係・給与関係・技師会活動関係等のいずれかをテーマに実態アンケート調査を1回行う。
- ・アンケート調査協力への広報活動を行う。
- ・委員会を年10回開催する。また、必要に応じて会議開催を行う。
- ・使用済み切手の収集活動を行う。
- ・災害関係への募金活動を行う。
- ・会員親睦行事を開催する。

## 情報委員会

- ・ホームページ定期、随時更新。
- ・ホームページ保守、管理。
- ・ホームページの改修作業。
- ・ホームページ使用ニーズに対するシステム変更。
- ・ホームページの活用解析。
- ・サーバーおよびメーリングリストの保守、管理。
- ・情報委員会会議を適宜に開催する。
- ・情報委員のスキルアップ勉強会を開催。

## 渉外委員会

- ・表彰委員会開催 2回。
- ・渉外委員会開催 適宜。



- ・叙勲への推薦。
- ・東京都功労者表彰への推薦。
- ・小野賞、功労賞等の総会表彰。
- ・日放技 永年勤続表彰等への推薦。
- ・その他関連団体における表彰への推薦。

## 2. 地区（支部）委員会

### 第1地区

- ・地区委員会を年 11 回開催する。  
原則：毎月第3火曜日に開催する。（8月休会）
- ・地区研修会を開催する。  
日時・場所：未定
- ・城東支部研修会を開催する。  
日時・場所：未定
- ・中央区健康福祉まつりに参加する。  
予定：2022年10月下旬頃
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会への入会促進を図る。
- ・技師会行事について、地区会員へ広報を行う。  
①地区・支部研修会 ②各種研修会・講演会・セミナー  
③学術大会（日放技・関東甲信越地域）④新春のつどい等

### 第2地区

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。  
予定：令和4年10月 ハイブリッド形式
- ・城東支部研修会を開催する。  
予定：令和4年7月 ハイブリッド形式
- ・地区委員会を年10回開催する。（原則として3週目水曜日）
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。地区委員を1名増員。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・中央区クリーンデー参加。  
予定：令和4年5月下旬頃
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に広報・参加呼びかけを行う。  
①総会 ②地区・支部研修会 ③各種研修会・セミナー  
④学術大会（日放技・関東甲信越地域）⑤学術講演会  
⑥新春のつどい等

### 第3地区

- ・地区（研修会・懇親会）を開催する。  
予定：令和4年11月頃に開催する。（会場開催かweb開催の予定）
- ・支部研修会を開催する。

予定：令和5年2月頃に開催する。（会場開催かweb開催の予定）

- ・地区委員会を年 11 回開催する。（毎月第3木曜日開催原則）
- ・未入会者には電話・メール等で入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
  - ①総会 ②学術研修会 ③きめこまかな生涯教育
  - ④学術大会（日放技・関東甲信越地域）⑤学術講演会 ⑥スポーツ大会
  - ⑦新春のつどい等

#### 第4地区

- ・地区研修会（参加者オープン）の開催。（2023年2月予定）
- ・地区若手技師交流会（第4地区限定）を開催。（2022年9月予定）
- ・地区委員会を年8回以上開催。  
（原則 理事会開催月 第3木曜日に開催し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑みて対面・Web・メール会議にて開催）
- ・入会促進および未納退会会員減少に務める。
- ・診療放射線技師法改正に伴う告示研修について地区会員に周知し、積極的な参加を促す。
- ・地区委員会未参加施設への地区委員会への参画を促し、次期地区委員候補探しを行うとともに、地区委員メンバーの活性化を図る。
- ・小野賞の選考。
- ・城南支部の地区（4・8・11・15）間の連携を強化する。
- ・城南支部研修会への協力を行う。
- ・OTAふれあいフェスタ2022への参加協力。
- ・日本診療放射線技師会および東京都診療放射線技師会の行事について地区会員へ積極的に参加を呼びかけ、参加率の向上を目指す。

#### 第5地区

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。  
予定：第5地区研修会を開催する。令和5年2月頃
- ・支部学術研修会を開催する。  
予定：城北支部研修会を開催する。令和4年10月頃
- ・地区委員会を年11回開催する。
- ・ホームページ掲載の更新を行い、積極的に会員との情報共有と活性化を図る。
- ・地区行事に参加した非会員にパンフレットを配布し、入会促進を図る。
- ・地区会員名簿の確認と更新を行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・荒川クリーンエイド活動などに参加し、社会貢献と環境保全を促進する。
- ・東京都診療放射線技師会行事を地区会員へ呼びかけ参加を促進する。
  - ①総会 ②学術・教育企画 ③学術大会（日放技・関東甲信越）
  - ④学術講演会 ⑤スポーツ大会 ⑥新春のつどい等

#### 第6地区

- ・地区研修会を開催する。

予定：研修会3月

- ・支部研修会を開催する。

予定：10月

- ・地区委員会を年12回開催する。(毎月第3火曜日開催原則)
- ・必要に応じてその都度、臨時の地区委員会を開催する。
- ・未入会者には積極的に入会促進を図る。
- ・地区会員名簿の更新を行う。
- ・地区委員会名簿の確認作業と更新を行う。
- ・小野賞を選考し推薦する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
  - ① 総会 ②新春のつどい ③学術研修会 ④学術大会(日放技・関東甲信越地域など)
  - ⑤学術講演会 ⑥会員レクリエーション大会などの親睦事業、等

## 第7地区

- ・地区委員会を開催する。

予定：8月を除いた11回(メール会議を含む)

- ・支部学術研修会を開催する。

予定：感染状況を踏まえ開催予定

- ・中央区健康福祉まつりに参加する。

予定：例年10月開催(感染状況により開催しない場合あり)

- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
  - ①総会 ②学術研修会 ③きめこまかな生涯教育
  - ④学術大会(日放技・関東甲信越) ⑤学術講演会 ⑥スポーツ大会
  - ⑦新春のつどい等

## 第8地区

- ・地区研修会を開催する。 予定：2月

- ・地区情報交換会を開催する。 予定：9月

- ・地区委員会を年8回以上開催する。

(理事会月 第2木曜日開催原則 Web・メール会議もあり)

- ・入会促進を勧めると共に未納退会会員を少なくする。
- ・診療放射線技師法改正に伴う告示研修について地区会員に周知し、積極的な参加を促す。
- ・次期地区委員候補を探し、地区委員メンバーの活性化を行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・城南支部の地区(4・8・11・15)間の連携を強化する。
- ・城南支部研修会への協力を行う。
- ・OTAふれあいフェスタ2022に参加する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行い、参加率の向上を目指す。
  - ①学術研修会 ②ワンコインセミナー
  - ③学術大会(日放技・関東甲信越地域) ④学術講演会 ⑤スポーツ大会
  - ⑥新春のつどい等

## 第9地区

- ・地区研修会・情報交換会を開催する。  
予定：2022年9月/2023年2月（社会情勢を考慮しWeb利用も検討）
- ・城西支部研修会を開催する。  
予定：開催時期未定
- ・城西支部各地区との連携を強めていく。
- ・地区委員会を年10回開催する（社会情勢を考慮しWeb利用も検討）
- ・積極的に入会促進をはかり退会会員を減らす努力をする。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会および地区委員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。  
①総会 ②学術研修会 ③きめこまかな生涯教育  
④学術大会（日放技・関東甲信越地域）⑤学術講演会  
⑥スポーツ大会 ⑦新春のつどい等

## 第10地区

- ・地区研修会を開催する。  
予定：令和5年3月頃
- ・地区委員会を年10回開催する。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。  
① 学術大会 ② 総会 ③ 研修会 ④ 統一講習会 ⑤ 告示研修

## 第11地区

- ・地区学術研修会を開催する。  
予定：10月頃
- ・地区委員会を毎月開催する。（メール会議を含む）
- ・未入会者には積極的に入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。  
① 予算総会 ②決算総会 ③学術研修会  
④きめこまかな生涯教育⑤学術大会（日放技・関東甲信越地域） ⑥学術講演会  
⑦新春のつどい等

## 第12地区

- ・地区研修会を開催する（社会情勢を考慮し、開催方法を調整する）  
会員にはハガキやHPを利用して参加を促進する  
予定：2023年2月
- ・支部研修会を開催する（第13地区と合同で行う）

予定：2023年3月

- ・地区委員会を年6回開催する。(開催日はその都度日程調整する)
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行うと同時に会員入会を促進するとともに、第12地区の会費未納者を減少させる。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
  - ① 総会 ② 学術研修会 ③ きめこまかな生涯教育 ④ 学術大会 (日放技・関東甲信越)
  - ⑤ レクリエーション ⑥ 新春のつどい 等
- ・第12地区ホームページの更新・メンテナンスを定期的に行う。

### 第13地区

- ・地区委員会はメール会議・WEB会議併用にて毎月1回開催する。  
(情勢を見て集合型の地区委員会開催を考える)
- ・支部研修会を開催する。(第12地区と合同で行う)
  - 予定：2021年度は第13地区担当であったが、COVID-19感染拡大の影響により開催できず。2022年度も第13地区担当予定
- ・地区研修会を開催する。(目標年2回の開催)
  - 予定：2回開催を目標に年度計画を進める。(情勢を見て集合型の地区研修会開催を考える)
- ・地区会員名簿を見直すと同時に会員入会を呼びかけていく。
- ・新たな地区委員の募集を促進。
- ・東放技・日放技主催の研修会などへの参加を促進させる。
  - ① 総会 ② 学術研修会 ③ きめこまかな生涯教育 ④ 学術大会 (関東甲信越学術大会)
  - ⑤ レクリエーションへの参加 (広報委員イベント手伝い) ⑥ 新春のつどい等

### 第14地区

- ・地区 (第14地区のつどい) を開催する。
  - 予定：令和4年8月 開催場所：未定
- ・支部研修会を開催する。
  - 予定：城東支部研修会
  - 予定：令和4年7月
- ・地区委員会を年10回開催する。(第2金曜日を開催日とする)
- ・未入会者への入会促進。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・中央区健康福祉まつりへの参加。
  - 予定：令和4年10月
- ・地区委員への参加を要請する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
  - ① 総会 ② 学術研修会 ③ きめこまかな生涯教育
  - ④ 学術大会 (日放技・関東甲信越地域) ⑤ 学術講演会 ⑥ スポーツ大会
  - ⑦ 新春のつどい ⑧ 日本診療放射線技師会の告示研修

### 第15地区

- ・前年度中止となった城南支部研修会の開催を主管地区として行う。
- ・地区委員会を年6回程度開催する。(世上によりweb開催も検討)

- ・地区委員を増員して地区の活性化を図る。
- ・積極的に入会促進をするとともに、未納退会会員の歯止めを行う。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行い、必要な情報伝達の充実を図る。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・城南支部の地区（4・8・11・15）間の連携を強化する。
- ・OTAふれあいフェスタにスタッフとして参加要請をする。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に広報して参加の呼びかけを行う。
  - ①総会 ②学術大会（日放技・関東甲信越地域）③学術研修会
  - ④きめこまかな生涯教育 ⑤親睦行事 ⑥OTAふれあいフェスタ
  - ⑦新春のつどい等

### 第16地区

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。
  - 予定：令和5年2月頃
- ・支部研修会を開催する。
  - 予定：令和4年10月頃
- ・地区委員会を年11回開催する。第3金曜日（8月休会）
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会や各団体が開催する職域向けの行事への参加を、地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。

## 3. 特別委員会

### 表彰委員会

- ・表彰規定に基づき叙勲およびその他の団体表彰候補者の選考・審査を行う。
- ・東京都診療放射線技師会 各功労賞候補者および団体の選考・審査を行う。

### SR推進委員会

- ・委員会開催（10回程度）
- ・緊急被ばく医療研修会実施
- ・災害対策に関する啓発活動

### 国際委員会

- ・世界の診療放射線技師の状況を把握するため、ISRRT（世界放射線技師会）やAACRT（アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会）、EACRT（東アジア学術交流大会）の動向及び学術大会などの情報収集を行う。
- ・SRTA（ソウル特別市放射線士会）など、相互学術交流の推進。
- ・国際交流を推進するための情報収集及び準備を行う。

- ・ 学術交流のための準備を行う。
- ・ SRTA学術大会への参加。(派遣演題2演題予定)

#### **将来検討委員会**

- ・ 事務所追加、拡張を検討する。 予定：1年
- ・ 研修会等開催方法について検討する。 予定：1年

以上